



NO. 301

2018. 7. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センターB1F  
発行責任者 小泉 いと子  
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623  
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>  
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

平成29年度事業報告について

平成30年6月5日(火)に理事会が、6月21日(木)に評議員会が開催され、議案 案件として平成29年度事業報告書(案)が承認されましたので、その内容の一部をご報告します。

事業概要 (一部抜粋)

大阪市育成会では、29年度を28年度に引き続き事業所の経営基盤の再整備の年と位置付け、修繕を含めた工事の実施と人づくりに充ててきました。

まず、27年度から実施してきた各事業所の改修工事も、最終として港育成園・港第二育成園の食堂と作業室の内装更新の改修工事を実施しました。今後は次のステップとして、利用者の状況に合わせたバリアフリー化等の検討を進めていきます。

次に、人材育成については、「研修の充実」と「業務への積極的な関わり」を課題としました。

一つ目の「研修の充実」に関しては、27年度より職員で構成された研修・企画委員会を中心に各種研修の企画検討を進め、2年の実績を重ねてきたことで各階層の後進育成に向けた研修も順調に進みつつあります。また、30年4月の障害者総合支援法の3年後の見直しならびに報酬改定に向け、事業所の支援業務に関わる職員が研修に参加し、後日、所属事業所の職員に対して講師役となり研修を実施しました。

二つ目の「業務への積極的な関わり」については、27年度の職員向けにセルフチェックシート導入を皮切りに人事考課の導入に向けての準備を進め、28年度には考課者や被考課者向けの研修を実施し、29年度には試行実施をするまで至りました。今後は職員個々の業務の見通しと振り返るツールとして更なる活用を進め、実施方法等の課題整理や検討を進めていきます。

法人で実施している事業については、大阪市からの

委託事業として、「区障がい者相談支援センター事業」と「障がい者就業・生活支援センター事業」の2事業を受託してきていましたが、29年度が長期契約(3年契約)の最終年にあたっていたことから、これまでの事業への取り組み方を振り返りつつ、30年度からの次なる3年間の同事業受託に向けて準備を進めました。

これら以外には、大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合(通称「エル・チャレンジ」)からの受託事業も担っており、障がい者の就労機会の拡大と社会参加の促進に努めました。

30年度以降の当法人の課題として、国では「我が事・丸ごと」として地域共生社会の実現に向け施策を推進していることから、今後、会員組織として地域での様々な活動が求められると考えています。また、30年4月の法施行3年後の見直しにより「共生型サービス」が新たに設定されたことから、事業実施主体として65歳到達後の利用者支援の方法を検討していく必要があります。

障害福祉サービス事業

- ア 東育成園の経営  
(生活介護25名 就労継続B型25名)
- イ 港育成園の経営  
(生活介護40名)
- ウ 港第二育成園の経営  
(就労継続B型40名)
- エ ワークスいけじまの経営  
(就労継続B型20名)
- カ 福島育成園の経営  
(生活介護100名 施設入所支援40名)
- キ 居宅・移動支援等事業  
(移動支援・居宅介護・重度訪問介護・行動援護)
- ク 共同生活援助事業(メープル、ビーンズ)